

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

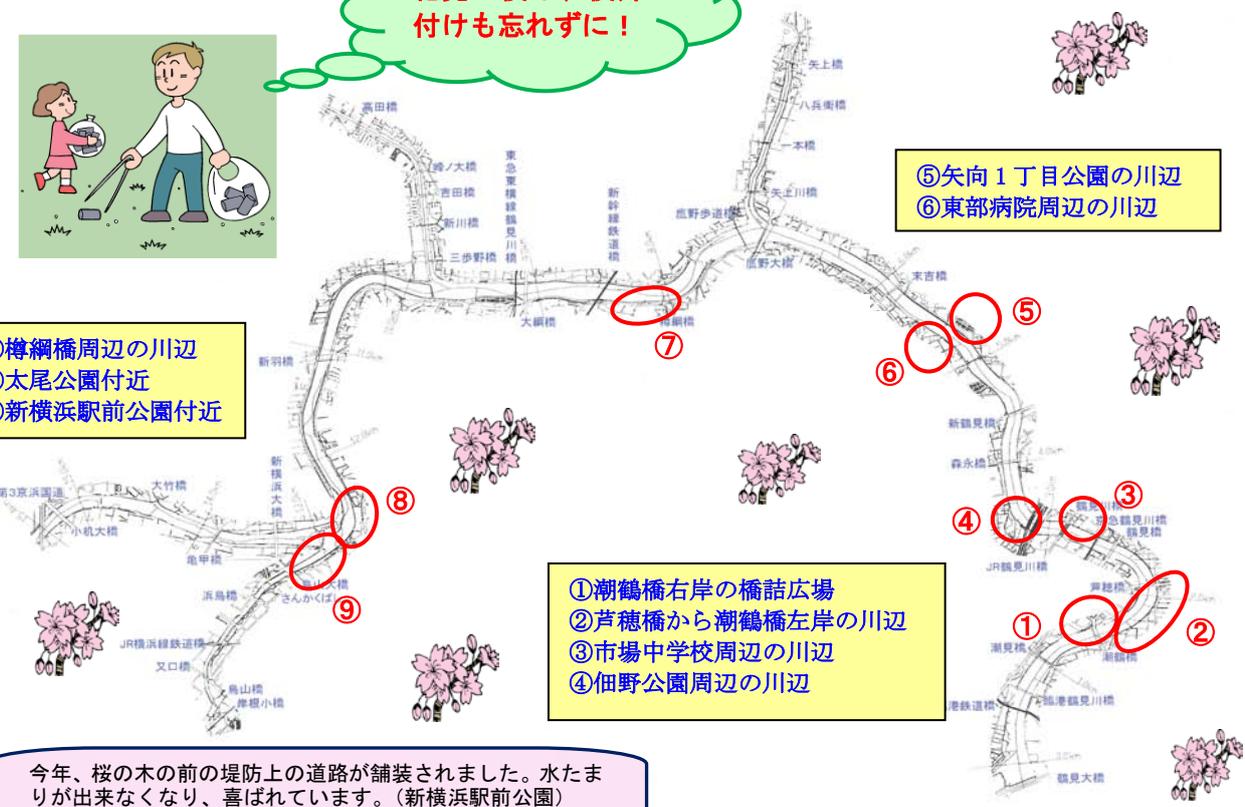
国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2 0 1 3 年 0 3 月 0 8 日【第36号】

鶴見川沿い(港北区・鶴見区)の桜マップを紹介します

港北区樽町や港北区新横浜などでは、桜の咲く時期に多くの方が花見を行っています。今回は、国土交通省で管理している区間(鶴見川河口～第三京浜橋梁)の桜マップを紹介します。

花見をされる方の参考にして頂ければと思います。花見の際には、『ゴミの持ち帰り』に、是非ご協力をお願いします。

花見の後は、後片付けも忘れずに!



⑦樽綱橋周辺の川辺
⑧太尾公園付近
⑨新横浜駅前公園付近

⑤矢向1丁目公園の川辺
⑥東部病院周辺の川辺

①潮鶴橋右岸の橋詰広場
②芦穂橋から潮鶴橋左岸の川辺
③市場中学校周辺の川辺
④佃野公園周辺の川辺

今年、桜の木の前への堤防上の道路が舗装されました。水たまりが出来なくなり、喜ばれています。(新横浜駅前公園)
この写真は、昨年4月に撮影したものです。



鶴見川と鳥山川の合流点付近



樽綱橋上流(樽町側)

鶴見川流域講演会が2月27日(水)に開催されました



鶴見川流域で 20 年超にわたる市民と行政の連携による流域づくりに尽力されてきた慶応義塾大学経済学部岸教授を迎えて、今や世界に注目される取り組みへと発展した鶴見川流域水マスタープランのスタート時からの歩みを振り返るとともに、今後の地球温暖化への適応策など、流域の展望について講演して頂きました。

岸教授は、鶴見川水委員会委員で、NPO 法人鶴見川流域ネットワーク代表でもあります。

15 時から始まった講演会は、100 名を超える方々が来場され、盛況を収めることが出来ました。

参加者からは、「私たちの暮らしに最も関わり深い水についての総合計画が、水マスタープランだと言うことが良くわかりました。」と好評でした。

大熊川に架かるトラス橋が6日間かけて繋がりました

大熊川が鶴見川に合流する付近の都筑区川向町で横浜環状北線の工事が行われています。

この大熊川に架かっている大竹橋付近の上空をトラス橋で横断しますが、2月25日から3月2日にかけて、送り出し架設が行われました。3分間で約1m送り出し、7分間で次の準備を行うことの繰り返しで、対岸と接続し158mのトラス橋となりました。

右に写真を掲載していますが、左側のトラス橋が右側のものに接続したのがわかります。

この高架橋は、上下2段に車道が重なる構造となり、上段が生麦方面へ、下段が港北方面へ向かう車が走行できるようになります。



2月25日に撮影したもの



3月5日に撮影したもの



あ と が き

川崎市幸区南加瀬の江川町内会の皆さんが、3月3日(日)の、どんよりとした曇り空の寒風吹く中、矢上川の清掃活動を実施して下さいました。今、堤防の上をととても気持ちよく散歩することができます。



多摩川や江戸川では、自治会や市民団体と地元自治体が連携して年数回のクリーン作戦を実施しています。そんな形に発展して行って欲しいと思っています。

右上の写真は、江川町内会の皆さんが清掃活動を行っている時のものです。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは鶴見川の情報を発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

2月から階段の壁を使って鶴見川流域写真展を行っていましたが、その中の人気投票結果の上位4点の展示を行っています。



【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)